

# 2011/12 Weekly Bulletin



国際ロータリー 第2790地区 第3分区B

## 市原ロータリークラブ会報



第2,333回例会 2011年11月16日(水) SAA:山崎 会員 会報担当:上條 会員  
例会場:五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

☆点鐘 市原RC会長 斉藤 榮志 ☆ソング 手に手つないで  
☆お客様

### 会長挨拶 市原RC会長 斉藤 榮志



今月の25日にPJより交換学生事業の学生5名がやってまいります。現在のところその内3名のホームステイ先は決まっていますが、まだ2名のホームステイ先が国際奉仕委員会の多大なご努力にもかかわらず、まだ決まっておりません。来日を9日後に控えて大きな問題を抱えてしまいました。皆さんのなかで何とかこのピンチを救って下さる方がいらっしゃいましたら、国際奉仕委員会の宮地委員長までご一報下さるようお願い申し上げます。

昨年度の長期の留学生受け入れの時も同じような状況を抱えてしまったように、近年、留学生のホームステイ先をさがすのが段々困難になってきています。永年継続して参りましたPJとの学生交換事業も、市原中央高校さんの派遣学生さんお宅にホームステイを受け入れていただくようなシステム作りをしないと、これから先、継続していくことを見直さなければいけない時期に来ているのではないかと思います。ともかく今回のこのピンチを何とか救ってくださるよう皆様に再度お願い申し上げます、会長の挨拶とさせていただきます。

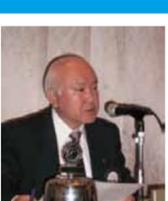
### 幹事報告 幹事 山本 順也



・ 11月11日(金)に市原中央高校インターアクトクラブの例会に、泉水新世代育成小委員長と会長、幹事、藤谷会員、宮地会員で出席してきました。

・ 今月の理事会議事録をお配りしましたので、ご確認下さい。

### 委員会報告



#### 宮地国際奉仕委員長

PJRC派遣の交換学生受入の件です。お手元にお配りしましたスケジュール表通り、11月25日から12月4日の10日間をホストします。5人を受け入れる予定ですが、ここで大変困っておりますのは残り2名のホストファミリーが未だに決まっておりません。各会員に個別にお願いしておりますが、該当者が居ない現在、何か良い知恵は無いものか、皆様にお伺いします。

永年続いていますこのプログラムを途絶えることのないように、皆様のご協力を宜しく願います。

#### ポールハリスフェロー授与式(齋藤(榮)会長より)

- ポールハリスフェロー認証状授与者:上野会員、本郷会員
- マルティプルポールハリスフェロー:上野会員、西村(芳)会員
- マルティプルポールハリスフェロー2回目:長田会員、齋藤(榮)会員

### 結婚・誕生祝い



#### 誕生日記念

万崎、小川(順)、本郷会員

#### 結婚記念

赤星、上條、佐藤、深川会員

菊地、岡本、増田会員

(敬称略)

### 宅話者紹介・常泉職業奉仕委員長

今日は大変時間が追っております。SAAならびに会長は宅話者の宅話時間を確保いただけるようにご配慮をお願いします。

大変身近なところに良い職業奉仕を実践している人がおりましたので、今日はその方に宅話をいただきたいと思っております。西村美和子会員に「職業奉仕について」と題しましてお話を伺います。

### メインプログラム



#### 西村美和子会員

#### 「職業奉仕について」

先日、ある機会を頂き、五井中学校にキャリア教育の一端として仕事に関わるお話をする様御依頼があり、中学2年生330人の生徒さんにお話をするという事がありました。先生がおっしゃるには高校卒業時の約30%近くの生徒が自ら進んで就職をしないという実態があるのだそうです。就職難ということも多少は理由として挙げられるのですが、主たる理由は職に就くという意欲が無いということがあるのだそうです。生徒に是非、仕事を得る事が社会生活の中で大変大切なことであるという事、その様な基本的な仕事に対するお話をして下さいと言われました。私の他には、小学校の先生・五井グランドホテル・花屋さんの3人がそれぞれの職種についてお話をしました。

私は限定された職業の話ではなく、どの様な職業に就いても人々の目につく華やかな立場の人もその陰に居て、なかなか存在は多勢の人の目に触れない地味な仕事を黙々と真面目に日々行っている人も色々な人が関わって一つの仕事が完成するのだから、自分の仕事に全ての人が誇りを持って生き生きと毎日過ごすことが大切であるという話をしました。職業奉仕の中で本日、皆様にお話をすることは一寸おこがましい気がします。職業人となって今年で15年目です。それまでは専業主婦で家事と子育てに専念していた訳ですから、遅い社会デビューでした。主人の転勤でアメリカに8年半駐在をし、バブルという前代未聞の経済環境を外地で経験し、日本の経済力を日本の外から見つめ、ややはじけかかった所で帰国しました。その当時、銀行は不良債権の処理に追われだし、消費は低迷しだし、世の中としては暗さが増すばかりの状況の中で、実家である病院の経営にタッチすることになりました。ちょうどどの様な分野の企業でも二極化が始まり、色々な意味での過渡期と言われる様な背景の時期でした。

高度成長期が長く続き、右肩上がりの経済成長を誰もが当たり前だと思っていたところに、予想だにできなかった突然の急ブレーキの作動に、前例のない事に対する判断の苦手な我々国民はたたらうたえるばかりであったことも記憶に残っています。

医療の業界においても決して例外ではなく、赤字を抱える病院が多く、自民党政権下でも医療制度改革が始まり、全体の病床数の削減や施設基準の見直しがあり、制度改革に添っていけない病院は収入が減少し先行不安という状況になりました。

民主党政権になり、病床を減らす政策が見直され、一般病院の診療報酬がやや上向いたことにより、ここ1・2年は全体的には経営実態は改善されてきている様です。

2・3年前までは医療は不況業種とされていたのです。

最近では世の中では医療・介護はこれからの時代の期待される業種となった様ですが、年々国家予算の中で、医療・介護にかかる割合が上昇し、その為に皆様の納める保険料も上昇し、介護保険料についても自己負担額を増やさねば追いつかない様になってきています。

さて、具体的な私の職業奉仕について少しお話いたします。

私の仕事は9割は病院のマネージメント、そして1割がヒルクレストという医療資材、介護関係の会社の仕事です。病院の経営というのは大部分の病院においては理事長、院長がその運営に当たっている場合がほとんどです。

当院の場合は、医療とマネージメントを分けております。

本来、医師や看護師は専門職の分野で力を発揮してもらった方が良い結果を残せるものだと思います。人事、経理、企画等々、医療と関係のない所は全て引き受けて処理していくことにより、専門職の職員は自分の得意分野で力いっぱい活躍してもらおうということです。

そしてもう一つは労働環境の整備ということで、ワークライフバランスの整備に力を入れました。病院施設の全面建替えをした10年前より、24時間の院内保育園の運営をし、職員全員利用する権利を認め、日々子ども達で賑わっております。

この活動は今年2月、厚生労働省に認められ、千葉県で19番目にクルミンマークというマーク認定企業となりました。病院では千葉県では初めて、全国でも松山赤十字病院に次ぎ2番目です。当院の育児休暇の取得率はちなみに121%だそうです。少子化社会に敢然と戦っております。

病院を健全に経営していくことが多分、今の私の職業奉仕であると考えています。

- 1 地域医療を責任を持って推進し、充実させること
- 2 従業員の日常生活の安定と労働環境の整備
- 3 誠実に業務を遂行すること

要約するとこの様な事になると思います。

どこかロータリーの4つのテストにも相通ずるところがあるのかもしれませんが。

どんな時も、誰に対しても全力で尽力する一生でありたいと思っています。

### ニコニコ・Sorryボックス

#### 1. 西村美和子会員

本日は私のつたない話にお耳を傾けていただきありがとうございました。

#### 2. 齋藤会長・山本幹事

西村さん、今日は職業奉仕の実戦のお話、ありがとうございました。